中日新聞　2023年6月25日版　岐阜県版　P12

デジタルで地域課題 探る

岐阜女子大 長野の高校と連携協定

協定書を交わした松川学長㊨、出野校長㊧ら＝長野県伊那市の伊那西高で

岐阜市の岐阜女子大と長野県伊那市の伊那西高校が二十二日、伊那市内の文化遺産を電子データ化して保存するデジタルアーカイブの構築に取り組み、地域課題の学習を深める高大連携協定を結んだ。

同大はデジタルアーカイブの教育に力を入れており、昨年度末、同高でデジタルアーカイブの基礎を学ぶ授業をしたのをきっかけに連携、協力することになった。

同高では、二年生のクラスでデジタルアーカイブの構築を進める。具体的なテーマは今後検討するが、生徒たちが文化財などを写真に収め、説明文を作成して資料収集する。活動の中から地域課題を見つけだし、必要な取り組みを考察する動画を制作する予定だ。

同高で調印式があり、出野憲司校長と協定書を交わした松川礼子学長は「地域資源のデジタルアーカイブは、地域のさまざまなことを再発見し、理解を深めていく重要な教育活動。高大連携は課題探求型の学習の全国モデルになりうる」と述べた。

同高二年の福沢世莉歩さん(一七)は「学びを通して地域の問題解決や、これからの自分たちの生き方の探究につなげていきたい」と意欲的に話した。

（中沢稔之）